





















(左・右・両)観血的整復固定術を受ける患者様へ

【患者様用クリニカルパス】

ID: 患者氏名: 様

経過	入院当日(/)	入院2日~ 日	手術前日(/)	手術当日(/)	手術後1~3日	術後 日~退院日(/)
目標	手術に対する理解ができ、疼痛がコントロールされ手術に臨むことができる。			手術を予定通り受けられ、手術後の痛みを訴えることができ対処できる。	傷の痛みを訴えることができコントロールできる。 車椅子で移動できる。	手術後おおよそ3~10日で退院・転院できる。
検査	血液検査・レントゲン検査等 必要に応じて行います。 	必要に応じて血液検査をします。 		手術後レントゲン検査、  血液検査をします。	血液検査をします。	必要に応じて血液検査をすることがあります。
治療・処置	必要時、足の先に重りを付け引っ張ります。 尿の管を入れます。 	排便の確認をします。 必要時には浣腸を使用します。		手術後、足の先の重りを外します。	傷の消毒をします。 尿の管を抜きます。 	2日に一度、傷の消毒をします。
内服	必要な内服は継続します。 			必要な薬のみ内服します。	内服を再開します。 	
注射	疼痛時は痛み止めの注射を使用します。			24時間点滴を行い、必要時には輸血を行います。  抗生剤の点滴を行います。 疼痛時は痛み止めを使用します。		抗生剤の点滴を行います。
食事	食事が食べられます。 	就寝後から食事を食べたり、飲んだりできません。 		手術後、お腹の動く音を確認したら水分が摂れます。  その後、食事を開始します。 		
安静度	手術前はベットの上で安静に過ごします。 			術後5~6時間は絶対安静になります。 ベッド上で足を挙上します。 看護師が体の向きを変えます。		車椅子で移動できます。 
清潔				毎日体を拭きます。		
説明・指導	主治医より病状、手術の説明を行います。 看護師より入院説明を行ないます。 必要時、呼吸機能回復訓練器(スーフル)を病棟からお渡しします。(5250円) 肺塞栓を予防するため足に間欠的に空気で圧迫するフットポンプを付けます。 時には弾性ストッキングをはきます。	医師・看護師より手術説明を行ないます。 麻酔科医が病室に診察に伺います。		手術後、主治医より手術の結果と今後について説明があります。		退院・転院後についての説明があります。 

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

岩手医科大学附属病院
救急科